

あなたにピッタリの

結婚相談所の探し方 ガイドブック

10年間、500社以上の結婚相談所を調査した結果分かったこと

はじめに

もしあなたが今、こんな風に思っているなら、このガイドブックはきっとあなたの役に立ちます。



**結婚相談所がイイとは聞くけど、
何がイイの？**

**どこの結婚相談所でも
同じだろ？**



**恋愛経験が少ないので
優しくサポートしてほしい！**

**結婚相談所に入ったら
たいてい結婚できるんでしょ？**



たしかに結婚相談所は、数ある婚活の中で最も結婚できる可能性が高いものです。

でも実際は、入会后3ヶ月で素敵な人と出会って成婚退会する人がいる一方、入会時に30万円以上のお金を払ったのに、3ヶ月で辞める人もいます。

入会してから10年以上も婚活を続け、未だ結婚していない人もいます。

私は10年間で、500社以上の全国の結婚相談所の取材を続けてきました。私の運営するホームページには、毎日数多くの結婚相談所の口コミが投稿されます。

良いカウンセラーと出会い、感謝の口コミを書く人もいれば、怒りに任せて相談所のことをボロクソに書く人もいます。

幸せを求めて結婚相談所に入会したのに... 負の感情と共に結婚を諦めていく人を何人も見てきました。

「皆さんにイイ婚活をしてほしい！」

「良いカウンセラーと出会ってほしい！」

そんな思いでこのガイドブックを書きました。

目次

第1章 結婚相談所の全体像

- 結婚相談所の全体像
- 結婚相談所の型
- 結婚相談所のシステム
- 以前の結婚相談所
- 現在の結婚相談所
- 連盟に注目
- 3つの相談所の種類

第2章 結婚相談所のイイ所とワルイ所

- 結婚相談所のイイ所とワルイ所
- 結婚相談所のイイ所
- 結婚相談所のワルイ所

第3章 ハイクラス結婚相談所の実態

- ハイクラス結婚相談所の価格
- 活動内容は？
- サクラはある？
- 他の相談所との連携は？

第4章 どの連盟がいい？

- 流動的な連盟
- 2021年1月の会員数

第5章 お見合い・仮交際・真剣交際について

- お見合い
- 仮交際
- 真剣交際

第6章 成婚退会について

第7章 成婚率について

- 成婚率ってなに？どんな算出式？
- 半年以内の成婚率50%ってどういう意味？
- 成婚退会後に別れるカップルっているの？

第8章 良い結婚相談所の選び方

- 大手の相談所と小さな相談所、どちらに入会したらいいですか？
- 成婚料が後払いの相談所の方ならサポートを真剣にしてくれる？

第9章 結婚相談所の口コミの上手な活用方法

- なぜ悪い口コミや評判ばかりが投稿されるのですか？

第10章 子供の結婚を心配するご両親に向けて

第11章 3ヶ月ルール・6ヶ月ルールについて

第12章 さいごに

結婚相談所の全体像



結婚相談所にはネガティブなイメージを持つ人が多いです。

「モテない君」と「モテないさん」が最後に行き着くところと思っているかもしれませんが、でもそれはひと昔前の話。

現在の結婚相談所はごく普通の独身の人たちが、前向きに明るく婚活をしています。

結婚相談所の全体像



まずは結婚相談所がどういうものか、ザックリと把握しましょう。

結婚相談所がどんなものか検索をすると、データマッチング型、仲人型、情報型、検索型、紹介型、など、よく分からない単語が出てきます。

分かりにくいですよね???

ここでは unnecessary な部分を極力取り除いて、簡単に説明します。

結婚相談所の特徴は、子育てや教育方針に似ています。

それぞれの相談所の方針により、会員の活動にどこまで関わるかが違ってきます。



あっさりしたサポートをする相談所があれば、お見合いからプロポーズまで過保護なくらい関わる相談所、放任主義の相談所、中にはスパルタ教育をする相談所、優しく教える相談所など、それぞれの相談所に特徴があります。

結婚相談所の型



過保護型

何から何まで手を焼いてくれる。時間短縮になることは◎

中規模相談所のフルサポートプラン etc
小規模相談所のフルサポートプラン etc



放任型

自分で検索、出会う、交際、自分でプロポーズまで実行

大手の相談所のほとんどは放任型
低価格路線の小規模の相談所に多い



指導型

丁寧に指導やアドバイスをする誠実サポートが売り

小規模の相談所に多い。
反面、面倒くさいと感じる人もいる。



スパルタ型

婚活成功の道を厳しく徹底指導

小規模の相談所の成果型プラン etc
感謝する人もいるが婚活が嫌になる人も...



仲間型

一緒に運命の相手を探しましょう的な存在

小規模の相談所に多い。
反面、面倒くさいと感じる人もいる。

結婚相談所のシステム

以前は、それぞれの結婚相談所の在籍会員の数ポイントでした。



以前の結婚相談所は、各相談所に在籍している会員内で紹介し合うシステムでした。在籍会員の多い相談所に入会することが成婚の可能性を上げる一番の方法でした。

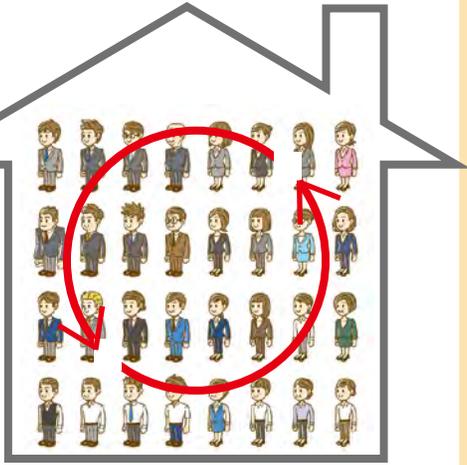


けれど、Webの発達で結婚相談所が大きく変化しました。

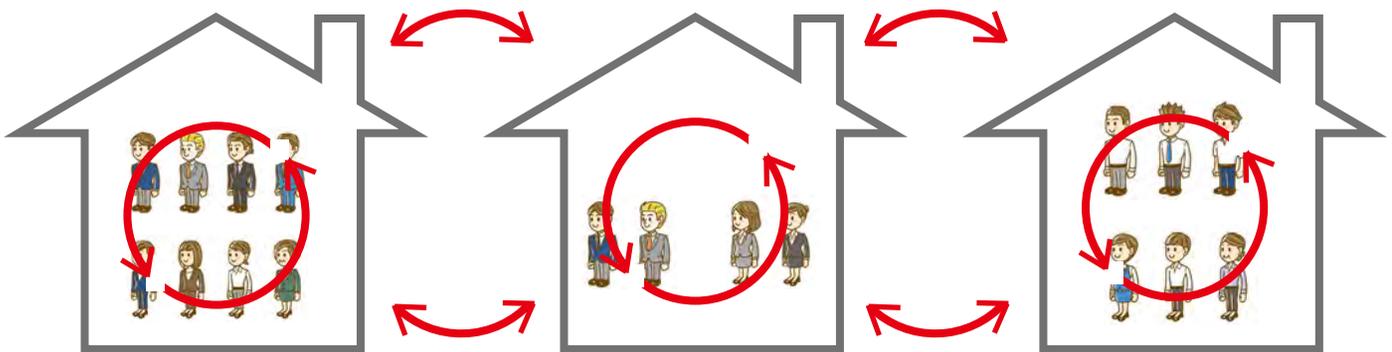
今は、大手の結婚相談所でも、小さな結婚相談所でも、在籍会員数はほとんど同じです。



以前の結婚相談所



以前、大手の結婚相談所は、自社内の会員だけを紹介していました。大きなファイルから手作業で相手を選ぶのはメチャクチャ大変だったんです。



以前、中小の結婚相談所も自社の結婚相談所の会員だけを紹介していました。たまに他の結婚相談所と連携して会員を紹介することもありました。



現在の結婚相談所



今はクラウドで全部が繋がっている！



今は大手と中小規模の結婚相談所が、みんな一緒になってクラウドシステムに会員を登録しています。

その中で会員自身が検索や申し込みをします。中には、連盟を使わずに自社内だけで運営している相談所もあります。自社内だけの場合、大手以外は会員数は少ないです。



連盟に注目

結婚相談所では「連盟」というワードが鍵となります。ひと昔前（15年以上前）の結婚相談所は、近所のおせっかいオジサンやおせっかいオバサンと呼ばれる人達が、自社の相談所に登録している会員同士をお見合いさせていました。

インターネットの普及で大きく変化！



今では、全国規模の「連盟」や「協会」と呼ばれる組織がクラウドシステムを作り、それぞれの相談所が加盟して、全国の会員を共有できるようになりました。このシステムのおかげで、たとえ近所の小さな結婚相談所であっても、日本全国の会員と出会えるようになったのです。



3つの相談所の種類

結婚相談所は、大きく3つに
区別すると分かりやすいです。



① オーネット、ツヴァイ、ノッツェ、パートナーエージェント、IBJ、ゼクシィなどの大手の結婚相談所

② 連盟に加盟し、代表者が個人で経営している小規模（支店が複数ある場合もある）の結婚相談所

③ 個別のシステムで運営している結婚相談所
（県や市が運営している相談所など）

それぞれにメリットとデメリットがあるので、自分に合った結婚相談所を慎重に選んで下さい。



1

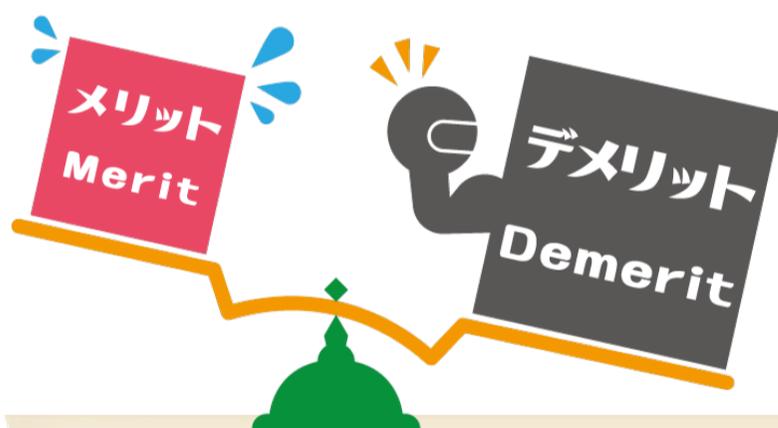
オーネット、ツヴァイ、ノッツェ、パートナーエージェント、IBJ、ゼクシィなどの大手の結婚相談所の特徴



メリット



- ★相談所自体が倒産する可能性が少ない。
- ★サポートがドライなので煩わしい人間関係が発生しない
- ★自分で何でもできるという人には最適
- ★個人情報の保護が徹底されている



デメリット



- ★平均的にカウンセラーの能力が頼りない
- ★「トンデモ会員」が多い＝カウンセラーが管理できない会員がいる
- ★一人のカウンセラーが大人数を担当する
- ★会員に合わせた個別の状況に対応できない
- ★入会前に担当カウンセラーが誰か分からない
- ★担当がよく変わる
- ★時間外の相談に対応してくれない

②

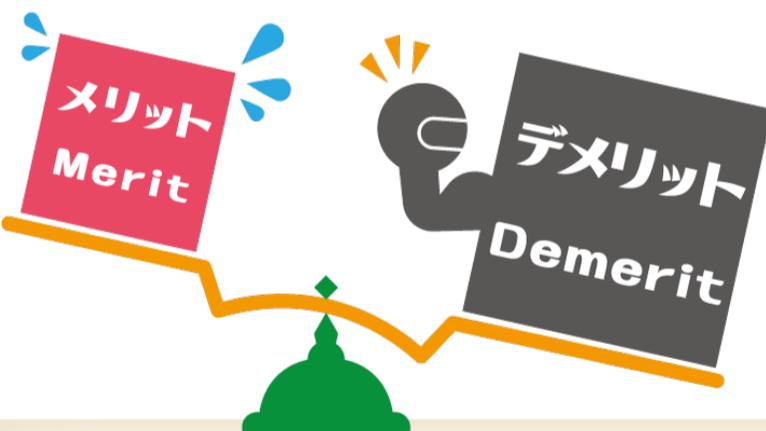
連盟に加盟し、代表者が個人で経営している小規模（支店が複数ある場合もある）の結婚相談所



メリット



- ★平均的に代表者とカウンセラーの能力が高い
- ★一人一人の会員の状況を理解している
- ★営業時間外のサポートが可能
- ★相手相談所との密な連携が可能
- ★各相談所の特徴を見て、自分に適した相談所を選ぶことができる



デメリット



- ★カウンセラーにより能力差がバラバラ
- ★倒産リスクがある（移籍先が受け入れてくれることが多いが面倒・担当者が変わる）
- ★担当が変更できないことがある
- ★「トンデモナイ」悪質な相談所がある

3

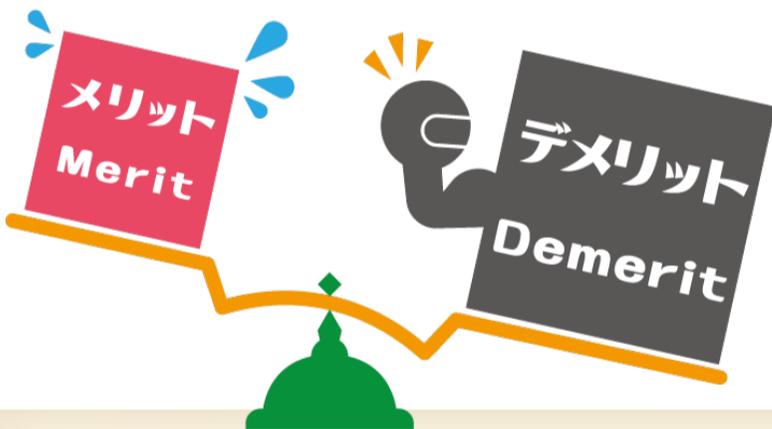
個別のシステムで運営している結婚相談所
(県や市が運営している結婚相談所)



メリット



- ★同じ相談所内のお見合いや交際は、カウンセラーが会員の希望や条件をすべて把握しているので成功しやすい
- ★県や市が運営している相談所は価格が非常に安い



デメリット



- ★全国の連盟に比べると会員数が少ない
- ★県や市が運営している相談所はカウンセラー経験が少ない
- ★時間外の相談に対応してくれないことが多い
- ★カウンセラーのモチベーションが低い
- ★入会前に担当カウンセラーが分からない
- ★担当がよく変わる
- ★システムのバージョンアップが遅い。使いにくい。

結婚相談所のイイ所とワルイ所



世の中にはいろいろな婚活があります。
その中でも最も結婚できる可能性が高いの
が結婚相談所と言われています。
けれど、結婚相談所も千差万別。
良くない部分もたくさんあるので、しっか
りデメリットを確認してから入会するかど
うかを決めましょう。

結婚相談所のイイ所



相談所の数が多い

結婚相談所の数が多いので、必ず自分に合う相談所があります。価格の安い相談所、丁寧サポートの相談所、恋愛アドバイスに強い相談所、ファッションに強い相談所など、自分が求めている相談所をじっくり探しましょう。



時間が節約できる

結婚相談所のカウンセラーがお見合いの調整、連絡、返事、などの煩わしい部分を代行してくれます。カウンセラーを上手に活用することで、とにかく時間が大きく節約できます。



Love you



たくさんの人に会える

その気になれば1日4～5名など多くの人に会うことができます。同時に複数の人と交際することもOKなので、短期間に多くの異性との出会いが可能。



100%結婚希望者である

出会う相手は高い費用を支払って入会している人なので、しっかりと結婚願望のある会員である。



プロフィールが信用できる

公的機関が発行する身分証明や独身証明書、所得証明、学歴証明などの提出が義務付けられているので安心。



カウンセラーの協力がある

婚活に詳しいカウンセラーからのアドバイスや協力がある。カウンセラーが相手相談所と連携をしてくれるので交際が進展しやすい。



心理的負担が少ない

カウンセラーが「交際お断り」を代行してくれるので別れる時、断る時の心理的負担が少ない。



自分でお断りをしなくていいのが楽、
という意見もありますが・・・
理由も知らされずにフラれた方の
ショックは計り知れない。
常識的な礼儀は守ってほしいな。

結婚相談所のワルイ所



自然な出会いじゃない

結婚相談所では「結婚相手に自然に出会いたい」という願いは叶いません。

一瞬で恋に落ち、そのまま恋人関係になり、お互いの気持ちが固まってから結婚のプロポーズ…という多くの女性が憧れるプロセスが相談所にはありません。



プロフィール写真と実際のギャップ

結婚相談所のプロフィール写真はフォトスタジオで撮影することが多いので、照明技術を駆使して別人のような写真をアップしていることが多いです。

極端な画像修正をウリにしているスタジオもあります。





カウンセラーと合わないことがある

入会后放置される、アドバイスをしてくれない、連絡が遅い、など、カウンセラーとの相性が問題になることがあります。結婚相談所選びに失敗しないためには、事前に担当カウンセラーを確認することが大切です。



費用が高い

婚活相談所は他の婚活サービスに比べてかなり割高です。入会費と月会費、結婚が成立すると成婚料金も発生します。その他にオプションのサービスで別途費用が発生することがあります。



結婚相手を選ぶ期間が短い

結婚相談所には交際期間のルールがあります。短い交際期間で成婚するかどうかを決めないといけません。



営業が上手い

無料相談に行くと上手にクロー징されることがあります。その場で契約を促す営業に注意しましょう。



サポートがあってもなくても同じ値段

カウンセラーのサポートが無くても、すんなり成婚できる人もいます。婚活がスムーズに進まずに、時間を掛けて手厚くサポートされる人もいます。どちらも料金は変わらないので不公平という意見があります。



動きが見えない

相手相談所とどういう話をして、どのように進んでいるのかが、本人に見えない部分があります。カウンセラーとの信頼関係がないと不信感が出てしまいます。

ハイクラス結婚相談所の実態



「高収入男性と結婚したい」

「学歴の高い人と結婚したい」

「お医者さんと結婚したい」

という希望を持つ女性もいらっしゃいます。

そんな女性の気持ちに付け込む悪質な結婚

相談所があるので気を付けて下さい。



ハイクラス相談所ってどんな
男性会員がいるの？

医師や弁護士や会社役員や高収入男性といった男性会員が在籍している結婚相談所のこと。

具体的には、年収が500万円以上、大卒、公務員、士業、上場企業、会社役員など。

女性への制約はない場合が多いです。



ハイクラスといっても大卒であれば年収が250万円でもよい相談所もあります。ハイスペックやハイクラスという言葉だけで勘違いしないように、入会前にしっかり確認しましょう。





独自のルートって何？



「当社には独自のルートがありますので、ハイクラス男性だけが入会するシステムがあります」とハイクラス相談所は説明します。

けれど、結婚願望のある医師や弁護士などハイクラスの男性ばかりが多数在籍する相談所というものは存在しません。

独自のルートを確認したことのある
業界関係者は一人もいない！



もし、在籍していたとしても…
本気の結婚願望があるのか疑問だ！



ハイクラス結婚相談所の
価格はどうなってるの？

ハイクラス結婚相談所は、男性会員に低価格で入会してもらい、女性会員から高い料金を徴収します。そのため、遊び目的の男性も多く、結婚できる可能性は非常に少ないのが実情です。入会してしまった女性会員から、「高い入会金を支払ったので辞めるに辞められない」という声が多数寄せられています。



実態のないハイクラス結婚相談所が多いから気を付けて！
最初に高額を支払うコースに注意して下さい。！





ハイクラス結婚相談所の 活動内容は？



ハイクラス専門の結婚相談所という名前だけで、実際は大きな連盟に加盟しているだけ、一般的な結婚相談所と全く同じシステムだった、ということが多いです。

ハイクラス結婚相談所に在籍している男性会員よりも、全国の連盟に所属している男性会員の方が、年収や学歴の高い人が圧倒的に多いです。

一般の結婚相談所に入会しても、出会える男性の数と質はほとんど変わらないということ。

ハイスペックの男性会員が在籍しているかどうかではなく、その他のハイクラスに特化した特徴があるかを確認しましょう。





サクラの男性会員が
いるって本当ですか？

ハイクラス専門の相談所には、サクラではないですが、真剣に活動をしていない男性会員がいることが多いです。

たまにパーティーやイベントに無料で参加してもらうのです。男性会員に報酬を支払っていることもあります。

また、在籍していない男性会員を偽登録しているように見せている、完全なサクラ行為をしている相談所もあります。

「この男性と相性ピッタリと思うので申し込みしてみますか？」

と担当カウンセラーから言われて申し込みをしても、相手男性は架空の人かもしれません。架空でなくても、本気で結婚する気がないので、何人に申し込んでもヒットすることはありません。このような最低の結婚相談所が実際にあります。





他の相談所との連携は
あるの？



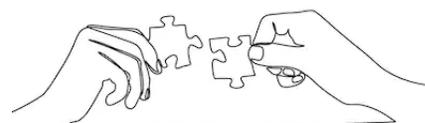
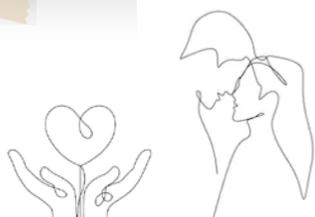
大手の連盟のシステムを使うことがほとんどです
から、他の相談所とも連携をしています。

ハイクラス相談所の大きな問題点は、

他の相談所から見た時に、ハイクラス相談所の女
性会員からの申し込みは、どうしても年収や学歴
などが目的だと思われてしまうこと。

ハイクラス相談所からの申し込みを取り次がない
相談所もあるほどです。

結局、成婚率が低いハイクラス専門の相談所が多
いのです。



第4章

どの連盟がいい？



全国規模の連盟や協会と呼ばれる組織がクラウドシステムを作り、加盟している全国各地の結婚相談所の会員を共有できるようになりました。現在の結婚相談所のシステムは、地域の小さな結婚相談所でも、地元の会員だけでなく、日本全国の数万人の会員と出会うことができます。



どの連盟にすればいいの？



相談所が大きくても小さくても
会員数にほとんど違いはありません。

じゃあ、どこの相談所に入会しても同じような会員数や年齢層なのですか？

とよく聞かれますが、それも少し違います。

どの連盟や協会のシステムを使うのか？が重要になるからです。

ある連盟の会員数は全国で 3000 人

ある連盟は会員数が 6 万人以上

ある連盟の会員は男女比が同じくらい

ある連盟の会員は女性が圧倒的に多い ...etc

連盟や協会のシステムにより大きな違いがあります。



流動的な連盟

連盟や協会の中には上場している企業もあります。IBJ、BIU、コネクトシップ、JBA、NNR、仲人協会その他いろいろな団体が吸収や合併、脱退や除名、ケンカや仲直りを繰り返しながら、熾烈な会員獲得合戦を繰り返しています。

結婚相談所が加盟している
連盟に注目すること



IBJ がツヴァイを吸収、IBJ がサンマリエを吸収、パートナーエージェントが IBJ から脱退、コネクトシップに加盟、ゼクシィ縁結びエージェントがコネクトシップに加盟、ノッツェがコネクトシップに加盟…etc
みんな一緒になれば成婚率は上がるのにな。

2021年1月の会員数

- 日本結婚相談所連盟 (IBJ) — 約 67,000 名
- 日本結婚相談協会 (JBA) — 約 52,000 名 (提携含む)
- 日本ブライダル連盟 (BIU) — 約 50,000 名 (提携含む)
- 良縁会 — 約 40,000 名 (提携含む)
- 良縁ネット (Rnet) — 約 37,000 名
- 日本仲人連盟 (NNR) — 15,000 名
- コネクトシップ — 30,300 名



重複会員が多いことに注意！

複数の連盟に加盟している結婚相談所もあります。総会員数が10万人や15万人と謳っていますが、各連盟への登録が重複していることも多いので、実質の登録人数ではないことに注意して下さい。



ラインのメニューから
「結婚相談所の登録人数チェック」
が出来るので調べてみて下さい。

お見合い・仮交際・真剣交際について



結婚相談所の活動は、会員のプロフィールを検索システムにアップすることが最初の第一歩。

その後、

お見合い → 仮交際 → 真剣交際 → 成婚退会
と進みます。

連盟や組織によって、少しルールが違うことに
注意して下さい。

お見合い



プロフィールを見て気になる人がいたら「お見合い申し込み」をしましょう。ここがスタートです。

お見合いの申し込みは直接相手に届くのではなく、在籍している結婚相談所経由でお相手に「お見合い申し込み」が届きます。

必ずカウンセラーが仲介をする



直接の申し込みはできない

お相手が「お見合い申し込み」にOKをすると「お見合い成立」となります。

お見合いは、約1時間、カフェでお話をします。
お見合い日程や時間の調整はカウンセラーが手
伝ってくれるところ、会員自らが調整するところ、
まちまちです。

お見合いも、二人きり、カウンセラーの立会いあ
り、カウンセラーから紹介だけあり、など相談所
により様々なパターンがあります。



お互いが「もう一度会いたい」
と思えば、仮交際に進みます。



お見合い後に、もう一度会いたいかどうかを、担
当のカウンセラーに連絡をします。

お相手も、もう一度会いたいかどうかを担当のカ
ウンセラーに連絡をします。

お互いがOKなら「仮交際」に進みます。

「仮交際」に進むかどうか？の返事も、
直接ではなくカウンセラーに伝えます

仮交際



仮交際に進めば、その後は相談所を介さずに二人でデートや食事をして下さい。

仮交際中は別の人とお見合いをすることも、デートをすることも可能。

複数の方と同時に交際することも OK です。

結婚相談所の婚活はエッチ禁止！

宿泊を伴う旅行禁止！

自宅での宿泊禁止！

成婚退会と見なす！



成婚料を請求されることがあるから注意して下さい！

交際を終了したい場合は、担当のカウンセラーに伝え、相手に伝えてくれます。

相手から交際終了の連絡があった場合は、その後こちらから連絡することはできません。



真剣交際



仮交際の期間で将来を共にできる人かどうかを見極めましょう。

結婚に向けて真剣にお付き合いをすることが決まれば、双方の相談所に伝えて、二人は真剣交際となります。



連盟や相談所によりルールが違うことがあるから気を付けて！



真剣交際になるとお見合いはできません。申し込みも申し受けもできません。プロフィールの閲覧もできなくなります。

交際期間はお見合いから概ね3ヶ月。相談所によってはマックス6ヶ月くらいまでの延長を認めてくれることもあります。

その後プロポーズを経て成婚退会へと進みます。各相談所で定義が変わるので確認が必要です。



成婚退会について



結婚相談所では結婚願望のある会員がお見合いや交際をしながら結婚相手を探します。

結婚相手が決まれば成婚退会となり、結婚相談所の活動は終了となります。

けれど成婚退会後に破局するカップルもいます。成婚退会のルールが各相談所で違うことで、大きな問題になることも多いのです。

成婚退会

お互いが交際相手を一人に絞り、前向きに結婚を考えたお付き合いをしていくことが真剣交際です。その後、結婚の決意が決めれば成婚退会となります。相談所によっては、双方が結婚を前向きに考えた時点で成婚退会になります。

成婚料金が発生するかどうかは結婚相談所独自の方針で違います。成婚退会のルールの違いや各相談所の決まりに注意して下さい。

結婚前提のお付き合いで成婚退会？

結婚を前向きに考える交際で成婚退会？

結婚式の日取りを具体的に決めれば成婚退会？

両親への挨拶完了で成婚退会？

プロポーズ OK で成婚退会？

仮に男性が、

「成婚退会したのだから、婚約したのと同じ！」

と書いていても、実は女性は、

「結婚を前提として真面目な交際をスタートする」

というニュアンスかもしれません。

そういった問題が起きないように、カウンセラーを交えてお互いにコミュニケーションをしっかりとっておく必要があります。

相手の相談所との連携をしっかりとってくれるように、カウンセラーに上手に頼りましょう。



ルールも大切だけど、いちばん重視すべきは交際しているお互いの気持ちです。

規則を守りつつも、柔軟に対応してくれる結婚相談所とカウンセラーを探しましょう！

成婚率について



結婚相談所を選ぶ時、気になるのが『成婚率』。でも、成婚率って何となくの意味は分かるけど... 正確には何か分かりにくいですよ？仕方ありません。分かりにくく手当たり前。『成婚率』は結婚相談所業界だけにある言葉ですから。成婚率についての正しい知識と気を付ける点をお伝えします。



成婚率ってなに？
どんな算出式？



『成婚率＝結婚できる人の割合』
と思われていますが…

その計算方法は明確に決まっておらず、各相談所が自由に決められる数字なのです。自社に都合よく数字を改ざんする相談所も多いのです。

えっ！！

ほんまかいな？



- 成婚退会した会員数をトータル会員数で割る
 - 成婚退会した会員数を退会した会員数で割る
 - 成婚退会した会員数を今年入会した会員数で割る
- など、本当にバラバラ。

算出方法（計算方法）が定義されていないから、
実態はあやふや。どうとでも都合よく変えられる
数字と考えていいでしょう。





「業界 No.1 の成婚率」と自慢していても
意味はありません。

幾らでも盛れる数字なのです。



なぜ信用できる数字
にしないの？



相談所の肩を持つわけではないですが、
実際に数字を出すのは難しいのです。

連盟や相談所により成婚退会のルールが違うから。

★真面目なお付き合い＝成婚退会

★両家への挨拶＝成婚退会

を同じように計算することに無理があります。





半年以内の成婚率 50%
ってどういう意味？



「●ヶ月以内の成婚率●●%！」と期間で区切っている成婚率は、最も勘違いしやすい数字です。

結婚相談所に入会した人の50%が成婚したわけではなく、成婚退会した人を調べると、半年以内に成婚できた人が50%いたということ。

★成婚退会した人だけをカウントする

★成婚退会していない人を無視する

という、かなり悪質な数字です。気を付けましょう。



ワタシやったら3ヶ月で
結婚できるんやと思ってたわ！





成婚退会後に婚約破棄になったり
別れるカップルっているの？



成婚退会後に婚約破棄や婚姻に
至らないカップルもいます。

成婚退会 = 正式入籍ではありません。

成婚退会がゴールではなく、その後こそ大切です。

成婚退会後も結婚までフォローをしてくれる相談所が
いいですね。

成婚退会後も、正式に結婚するまでは様々な問題が
出てくるもの。

退会後も相談に乗ってくれるカウンセラーがいると
心強いです。

成婚退会後に破局してしまった場合、無料で再入会
できる相談所もあります。



良い結婚相談所の選び方



大手の相談所と小さな相談所どちらに入会したらいいですか？

どの連盟に加盟している相談所がいいですか？

成婚料が先払いと後払いの相談所、どちらが真剣にサポートしてくれますか？

などの質問にお答えします。



大手の相談所と小さな相談所、
どちらに入会したらいいですか？

一般の人がよく勘違いしているのですが・・・
大手の結婚相談所の方が会員数が多い、と思っ
ていますよね。

でも、それは違うんです。

今の結婚相談所の婚活は、全国の会員が共通の
検索システムを使って結婚相手を検索できるよ
うになっています。

相談所が大きくても小さくても会員数に違いは
ありません。



重要ポイントだから何度も言ってる



じゃあ、どこの相談所も全部同じ会
員数なのですか？

と質問されますが、それも違います。

どの共通のシステムを使うのか？

という大きな差があります。

えっ!!!

ほんまかいな？



そういうこと、
誰も教えてくれへんで？



じつは ... 相談所のカウンセラーも
自社の加盟している連盟のことしか
知らないことが多いです。



各連盟の登録人数は、地域によって大きく違います。
関東に強い連盟、関西に強い連盟、40代男性が多く在籍している連盟、20代の新規女性が多い連盟など、連盟やシステムにより大きな違いがあります。

ある連盟の会員数は全国で3000人しかいないとか、
ある連盟は会員数が6万人以上いるとか。

結婚相談所を探す時は、どんな相談所かを見るのと同じくらい、その結婚相談所が加盟している連盟にも注意してください。



婚活を成功させるためには、丁寧にサポートしてくれる担当者やカウンセラーの存在が必要不可欠です。

「結婚相手を探すのに、サポートなんて要らないよ」って言う人もすごく多いです。

けれども！！！！

おそらく今皆さんが考えている以上に、婚活中はカウンセラーに力を借りることになります。

婚活は、傷付くこと、落ち込むこと、諦めそうになることが、真剣に取り組む人ほど多いのです。



婚活の最大の敵は・・・
諦めることなんです！

サポートしてくれる担当者の能力を考えた時、大手相談所のカウンセラーよりも、小規模の相談所の代表者の方がはるかに優秀です。

小規模の相談所の代表者の中には、人間的にも能力的にも素晴らしい方がたくさんいます。



大事なことを言うので、よ〜く聞いてください。
結婚相談所での活動は、「結婚すること」だけが目的ではありません。

「幸せになること」を最終目標と考えて「結婚しない」というゴールもあるんです。そんなゴールには、人間的に信頼できるカウンセラーとしか進めないじゃないですか。

反対に大手相談所や中規模の結婚相談所のスタッフは、ノルマや営業成績が厳しく、純粹に会員の幸せだけを願っていません。

また、入会するまで誰が担当なのか分からなかったり、一度決まった担当もコロコロとよく変わります。

結婚相談所での婚活は、あなたの人生を任せられるような、魅力ある担当者を探さなくてはいけません。

あなたを担当してくれるカウンセラーがどんな人なのかが1番重要です。

会員とカウンセラーの相性もあります。

必ず担当してくれるカウンセラーとしっかりと話してから相談所への入会を決めて下さい。



成婚料が後払いの相談所なら
サポートを真剣にしてくれる？

多くの結婚相談所では成婚料金というものが発生します。成婚料金が後払いの方が、会員が成婚をするよう努力をしてくれそうですが、注意も必要です。

どんな相手でも結婚させようとするカウンセラーがいるからです。

あなたとお相手の相性などは一切考えず、「あの人はいい人よ〜」「最初は皆そんな感じよ〜」と流れに乗せようとする相談所が、実際にあります。



前払いだから努力しない相談所もあるし、後払いだから結婚を急がせる相談所もあります。成婚料金がバカ高いから必死で頑張る相談所もあります。料金体系で相談所の良し悪しを判断することはできません。

結婚相談所の口コミの上手な活用方法



結婚相談所の入会を考えた時、口コミ情報が気になります。ですが結婚相談所の口コミを参考にする時は注意が必要です。結婚相談所の口コミは、食べログや飲食店の口コミ、楽天など物品購入後の口コミと大きく違います。圧倒的に悪い口コミが多く掲載されるのが結婚相談所の口コミの特徴です。



なぜ悪い口コミや評判ばかり
が投稿されるのですか？
良い話はないのですか？

結婚相談所に入会している人にとっては、自分が結婚相談所を利用しているという事実を周囲に知られたくない人が多いです。

身分を明かしてまで結婚相談所の情報を発信する人は極めて少ないです。匿名で投稿するのも心理的ハードルが高いものです。

それでも書き込むというのは「よほど感謝している時」か、反対に「よほど怒っている時」に人は口コミを書きます。軽い気分では書かないのです。



良い口コミ：悪い口コミの割合は、2：8くらい



真実の結婚相談所の口コミは、圧倒的に、感謝のお礼よりも、怒りや文句の方が多いのです。

これは、管理人の私が口コミサイトを運営してはじめて気付いた事実です。



えっ!!!

じゃあ何を参考にしたらええの？

じつは、良い口コミも悪い口コミも
同一人物からの良い口コミがメチャ
メチャ多い！



IP や cookie の web 情報で分かるものは掲載しないけど ...



真実の口コミが少ない、もう1つの
裏事情があります

真実の口コミサイトを運営すると、結婚相談所の業界から嫌われてしまうのです。すると脅しや文句、果ては損害賠償の裁判までされてしまいます。

悪い口コミを掲載し続けると、ものすごく面倒が増えるのです。

だから一般的なサイト運営者は業界のいいことばかりを宣伝するサイトを作ります。

また、ライバル相談所からの嫌がらせ投稿や、一方的な被害妄想の投稿などを精査するのは、非常に手間が掛かります。真実の口コミサイトの運営は大変なのです。

口コミサイトの上手な使い方

私の運営する結婚相談所の口コミサイトには、相談所が書く自作自演の「誉め誉め口コミ」が多く投稿されます。口コミ代行業者が書いている場合もあります。

そういうヤラセの文章を見極めるコツは、文章に具体性があるかどうか？リアルな感情が込められているかどうか？に注目して下さい。

自作自演で自社の相談所を誉めている口コミの内容は、どこか不自然です。

「優しかった」「良いサポートだった」「たくさんアドバイスしてくれた」など、話が抽象的で、具体的なことをまったく書いていません。

反対に、怒りの口コミは「なぜ怒っているのか？」「どんなことがあったのか？」をリアルな感情を込めて表現しています。

こういう口コミは本当のことが多いです。

他の相談所の評判を落とすために嘘の口コミや、嘘の悪評を広めることは明らかな法律違反となります。そんな大きなリスクを犯す人は多くありません。事実であれば犯罪ではありませんが、作り話の口コミ投稿は犯罪になります。

結婚相談所の口コミサイトやランキングサイトはたくさんありますが、そのサイトが信用できるかどうかは、「悪い口コミがどれくらいあるか？」で見分けることができます。

悪い口コミの投稿数が多いサイトほど「そのサイトには本当の感想が多く届いている」と判断して下さい。

しかし、一方的な被害妄想的な考えの悪い口コミが多いのもまた事実です。

悪い口コミが多く投稿されているサイトだとしても、一つの口コミ内容だけを鵜呑みにせずに、具体的かな？感情が込められているかな？被害妄想じゃないかな？と、この3つの疑いを持つことが大切です。

● 結婚相談所の口コミを参考にするポイント4つ ●

- ① 誰かの体験談はあなたの体験ではない
- ② ひとつの情報にとらわれない
- ③ 自分で確かめる手間を惜しまない
- ④ 広告収入バイアスが入っていないかどうか

① 誰かの体験談はあなたの体験談ではない



他人の体験談は参考になるけれど、それは決して、あなたの体験ではありません。

誰かにとっての『良い』が、あなたにとっての『良い』とは限らないし、誰かにとっての『悪い』が、あなたにとっての『悪い』とは限らない。

この部分を心得ておくだけで、口コミを鵜呑みにする思考回路を断ち切れるのではないのでしょうか？

結婚するまでの道のりの中では『自分で考えて、自分で決断する』タイミングがたくさん訪れます。

誰かの体験談だけで決断するのはやめましょう。

あなたの婚活は、必ず完全オリジナルなのです。



②ひとつの情報にとらわれない



人はインパクトに残る情報にとらわれやすいです！
インパクトの強い情報だけでなく、何気ない投稿にも目を向けてみましょう。あなたが見た口コミは、極端な感情の持ち主が書いたものかもしれません。

サポートの充実した良い相談所に、悪い口コミが投稿されることもよくあります。

複数の情報で判断してくださいね。



③自分で確かめる手間を惜しまない



口コミサイトで情報を集める理由は、きっと「失敗したくないから」ですよ。とくに婚活を始める多くの方は、焦りを抱えています。1分・1秒も無駄にしたくないと考えていて当然です。でも、どれだけ気を付けて口コミを調べても、失敗することはあります。だからこそ、最終的な判断は、自分の目で見て、耳で聞いて、自分の足で確かめること。この工程を無視すると、思い通りにならなかったとき、やり場のない後悔がのこります。



④ 広告収入バイアスが入っていないかどうか



ほとんどの婚活サイトは広告収入などによって利益を上げています。つまり、おすすめしている結婚相談所に入会させれば儲かるわけです。

そういうサイトの全てが悪いわけではなくて、確かな情報ならユーザーの為になるとも考えられます。

けれど当然のこと、バイアス(偏った意見)が入りますよね。見極めるのは簡単です。

- ・ おススメの相談所のマイナス面も書いているかどうか？
- ・ おススメしていない相談所のプラス面が書いてあるか？

をチェックしましょう。

要は、意見が偏りすぎていないかどうかです。

多かれ少なかれ、だいたいの結婚相談所の口コミサイトは広告収入を得ているので、多少はおススメしている結婚相談所があるはずです。

もう一つ大事なことは、「誰が調べた情報なのか？」に注目して下さい。相談所の伝えたいことだけをアフィリエイトの情報だけで、そのまま代弁しているサイトもありますから。



子供の結婚を心配するご両親に向けて



子供の教育にはとても熱心だったのに、子供の結婚に対して積極的に行動する両親は少ないです。もちろん、子供の人生は子供のものですから、両親が子供の結婚について、口やかましく言うことではありません。ですがご両親には、人生の先輩として、結婚についてのアドバイスを与えてあげて欲しいのです。



娘が結婚しそうにないのが
心配で心配で…

結婚や恋愛に関することは、とてもナイーブで他人が踏み込みにくい問題です。他人から知識を得ることが非常に難しいのが結婚の話です。昔はおせっかいなおばさんやおじさんが、適齢期を過ぎた男女に、【そろそろ結婚しないとね】と言いながら、お見合いの話を持ってきたものです。けれど今はそういう人がいません。だから、今、両親しかいないのです。現在の正しい婚活事情を、人生の先輩として、子供に伝えてあげて欲しいのです。



良い相手を見つけるためには、できるだけ早いうちに婚活することが大事だという現実を伝えてあげて下さい。

ご両親の結婚観と本人の結婚観はとても似ているものです。結婚に関する話は、ご両親からの話が一番聞き入れやすいですから。



子供の結婚を心配する気持ちは分かります。

だがしかし！！！！

ここはお母さまのお気持ちをグッと抑えて…

娘さんには自分で行動するようアドバイスをして下さい。

少し厳しい言い方になりますが、ご両親の気持ちや心配を全面に出して、その気持ちを汲みながら婚活に成功する人は限りなく少ないからです。

ただでさえ、女性を取り巻く婚活の環境は厳しいのに、そこからさらに、本人の意見と母親の意見を合わせる作業を掛け合わせると…

とても厳しい確率になってしまいます。

見放すことを勧めているわけではありません。

適度に関心を持ちながらも、相手選びや交際の内容にまでは口出しなどをしないようにしてください。



**ご両親と一緒に結婚相談所の無料相談
に来る人がいますが、反対です**



婚活は本人がやる気になっていないと、
幸せをつかむことは、絶対にありません！

3ヶ月ルール・6ヶ月ルールについて



結婚相談所には3ヶ月ルール・6ヶ月ルールという決まりがあります。(連盟で違いがあります) 交際が始まると、できるだけ3ヶ月で成婚退会しましょう、どうしても難しければ6ヶ月以内で成婚退会しましょう、というルール。3ヶ月で結婚相手を決めるなんて無理！という疑問について説明します。

3ヶ月・6ヶ月ルール



3ヶ月で結婚相手を決められる？



● 結婚相談所のカウンセラー 16 名に質問 ●

3ヶ月・6ヶ月ルールって
ぶっちゃんけどうなの？



現役のカウンセラーから貴重～な本音の考えを聞きました。婚活全般にとっても参考になる意見なので、ちょっと長いですが、ぜひ読んでください。

メリットは、時間を大切に出来る。
無駄な時間を過ごさないように考えて行動できる事。
ダラダラ交際を無くす事が出来る。
決断力が足りない人には、後押しになる（勢いをつけられる）

デメリットは、性格によると思いますが、焦ってしまう。
僕的には、ルールは目安という受け止め方で説明をしています。

実際にその期間で成婚されている方が9割以上ですので、あまりデメリットには感じていません。

その代わりに、

デートでどんな事が起きているか？

デートでどんなお話をしているか？

どんな気持ちになっているか？

今何回目のデートか？

などを、かなり細かく状況を確認しながら、次へのアドバイスを送っています。

ただ、他の相談所では、そこまで細かくフォローしていないところもあり、3ヶ月、6ヶ月の中身は違うかもしれません。

交際中の状況をお相手の相談所様に伝えても、「え～そうなのですか？」と言われる事も多く少し残念です。

要は、結婚相談所のフォローと会員様との信頼関係で随分違うのでは？という感じがします。

私は変なルールだと思っています。

「成婚料」がない当社のような存在からすると、無いほうが良いです。「成婚料」を取っている相談所にはメリットがあるでしょう。

当社では、あくまで「目安」と捉えており、延長なども柔軟に対応しています。

目安を定めておくことで、「そこまでに相手のことを深く知る努力をしよう！」という前向きな行動に繋がる側面もありますので、ここは小さいですがメリットと捉えています。

自身も開業仕立ての時は3ヶ月ルールについて変なルールだと思っていましたが、経験するほどにそうでもないのです。

要は今まで蓄積されてきた多くの仲人さんの経験値から、無駄な時間を過ごすことなく最短で結果を出せるのだと認識しています。

開業仕立ての頃、「結婚するケースは4回会えばわかる」と言っていた仲人さんがいてびっくりしましたが、確かにその通り、本当にうまくいっているケースは4回で本当に結果が出るんです。

最初は「まあ付き合ってみようか」くらいな感じでも、4～5回会うと、大体は状況が見えてきます。

今は「真剣交際」という段階でお互い仲人同士が話し合うよう勧められていますから。

* 真剣交際とは：1ヶ月から2ヶ月くらいの間に複数交際をその期間内で一本に絞るよう会員に促し、互いの会員を持つ仲人同士が話し合っ、他の申し込みが来ても受けられないようにプロフィールを「交際中」にする仕組み。

1ヶ月半くらいで相手に対してどう思っているかを仲人同士が確認しつつ、両者にもそれを伝えているため、お互い結婚に向けてかなり具体的な話し合いができていたのであまり不安感はないようです。

今は、基本「3ヶ月で交際を切る」ことはほとんどないです。

半年くらい、猶予の期間としてお互いの相談所が話し合いながら様子を見ていきます。IBJでは「半年経つと成婚扱いとする」と、ルール&マナーに書かれているため「マックス半年」と理解し、半年たってまだわからないという人へは「成婚料を払って退会して付き合う」という形にするという相談所が多いようです。

デメリットとしては…

相手の相談室がそう解釈している以上は、こちらもそれに合わせないといけないところです。相手会員がそうすると「わたしも成婚料を払います」と成婚退会した会員が過去いました。

が、その後、うまくいかなかったようでした…。

「成婚料は戻らない」ということを会員はちゃんとわかっている、ダメになっても返金を要求されたことは過去一度もないですが、こんな時って後味が悪いものです…。

今のところ、当社は、メリットしか感じておりません。
そして、3ヶ月ルールは賛成派です。

理由としては、結婚相談所にご入会される方の共通点は、「早く」結婚したいと思っている、です。

結婚相談所は、お客様の時間をお金としていただいています。お互いに早く結婚をしたいと思っているわけで、その対価として、お金をお互いに払っています。であれば、その「時間」を明確化することが必要です。無駄な時間を費やしたくないという方々が相談所に入るわけですから、当然、目安の期間を決めておくことは、当然のことだと考えます。

逆に、その目安があるからこそ、安心して恋愛が出来、余計な駆け引きをせず、スムーズに進む部分もあると思っています。

ちなみに、私個人の経験で恐縮ですが、プライベートで出会った女性と、3ヶ月でプロポーズをすることが出来ました。

個人的な経験でも、やはり3ヶ月という期間は、短すぎず長すぎず、プロポーズには良い期間かなと感じた次第です。

入籍をしたのは、それから1年後です。

でも、3ヶ月という期間は、プロポーズにはそこまで短い時間とも思えませんでした。

何かのご参考になりましたら幸いです！



確かに・・・恋愛では考えられない期間ですね。
私も始めた当初、いえ10年くらい前までよくわかりませんでした。

しかし、今ははっきりわかります。

まず、結婚が人生の大きな目的である人ばかりが来られます。(ただの出会いを求めている)

どちらにも共通するのは「結婚のある人生」を望まれている事。

もちろん、恋愛感情がないと結婚へは進みません。
お互いをよく知って徐々に惹かれていくのは5回目辺りだと思います。比較的女性は遅いですが。

5回目といえは1週間に1度としても1ヶ月半くらいでしょうか。

この辺りでその気持ちが起こらない時は、ご相談に来て頂いて他の方の方が良いのかも？と相談をします。
この繰り返しかと思えます。恋愛感情が生まれないと、みなさん絶対に結婚はされません。

3ヶ月になる段階で会員さんの方から「この先どうやって進めたら良いでしょうか？」と連絡があります。
そこでお互い気持ちを確認してその後の方向を決めていくようにしています。

後にご両親への挨拶があり、その後に成婚退会されています。

早いカップルで3ヶ月、ゆっくりしたカップルで4～5ヶ月がこちらでは多いと思えます。



ある程度の期限の目安があったほうが、成婚しやすいと思います。

「出会い」だけを提供し、あとはすべて本人の自由の場合、よっぽどお互いに好きか、または一方が積極的かでないと、自然消滅し、成婚が決まらない。また、相手はかなり好きなケース等、いつまでも待っていることは耐え難い気持ちになり、期限に救われることもあります。

これこそが結婚相談所の存在意義だったりします。

結婚相談所へ話を聞きに来る女性の8割以上が、アプリやカップリングパーティーの経験があります。

そこでうまくいかず結婚相談所での活動を望む理由は、カップリングパーティーや、婚活アプリで交際になっても

- ・相手が「結婚する気があるのかないのかがわからない。このままこの方法を続けててよいのか？」
- ・相手に「(恋愛はしたいけれど) まだ結婚はすぐには考えていない」と言われた
- ・一年ほど付き合ったが結局「今は結婚は考えられない」と言われた(大事な一年を無駄にしてショックだった)

というのがほとんどです。

特に女性の婚活は時間(年齢)との戦いだったりします。なので、まだ結婚する意思の固まっていない男性との交際は無駄な時間になります。

男性の中にも同様の理由(パーティーで出会った女性の結婚への本気度の低さ)で結婚相談所への入会を考える人も割といます。結婚相談所は料金も高い分、結婚を本気で考えている人が多いと言えます。

だからこそ、交際になったらその相手が結婚の相手として良いのかどうかを短期間に判断していきます。

「3ヶ月で決められるんでしょうか・・・」と聞かれることもあります。お互い真剣に結婚を考えている男女が交際成立から3ヶ月を経過しても、真剣交際へ移行できない場合は、このまま4ヶ月、5ヶ月と交際してもほぼ真剣交際には至りません。

何かしらのひっかかりや、そこまでの気持ちになれないから決められないのだと思います。だからこそ、期限を決めてというものです。

同様に半年経過しても成婚に踏み切れないというのは、やはり何か「この人でいいのか・・・」とひっかかりがあるからです。

それならばダラダラと付き合いはせずに次の人に進むほうが良いです。

「3ヶ月で結婚できるかどうか、自分では決められそうにないです。」

こういう人は、パーティーか婚活アプリで期限も設定されず、仲人にもとやかに言われずゆっくりと探されたら良いと思います。

モテるタイプの男性はそちらでの活動のほうが良いと思いますし、実際そうされているんだろうなと思います。

両方を経験している女性達は、婚活アプリやパーティーのほうが女性慣れしている男性が多いけれど、結婚への本気度が低い。恋愛相手を探している感じ。一方結婚相談所は身元がハッキリしているし、結婚への本気度も高く安心だけどモジモジした感じの男性が多いと言います。

結局、男女ともに他の婚活サービスを経験して結婚相談所での活動を選択する人は、相手が「このまま交際を続けていても、結婚する気があるのかないのかかわからない」が一番の理由です。

ちなみに男性は婚活アプリやパーティーを利用したものの自分のコミュニケーション能力に自信がなくダメだったというのも、結婚相談所を選択するもう一つの大きな理由です。だから結婚相談所では「モジモジ君」が多いというのも頷けますね。

元々は女性（の年齢）を守るためのルールとも言えますが、最近は男女ともに決めきれない人が増えています。女性はある程度の条件をクリアした上で気持ちもキュンとなれる人を求めています。条件はよくてもモジモジ君にはときめけない。

またはその逆で異性の魅力を感じるが、条件的には物足りない…

だから踏み切れない。そこが自分の立ち位置なのではあるのですが…

でも、女性余りの今、「後がないかもしれない」「いい人なんだけれど…」「断るほどの理由が見つからない」「でも気持ちが前に進まない…」

こんな気持ちで女性達も断らないまま、交際を継続する人も多いですね。

で、男性も好きな気持ちがあればその女性に時間とお金を費やしてしまいます。（モテない君だと次がないので、なおさらですね）

このルールがないと、とりあえず良い人が見つかるまでキープされてしまいます。だから、この期限付きは大いに意味があると思います。

パーティ、婚活アプリと比較しての結婚相談所のメリット三大柱のひとつともいえると思います。ちなみに私の考える「メリット 三大柱」はこれです。

- ・ 証明書類などの提出が義務付けられていることの安心感
- ・ いろいろと時間的な期限が決められているので無駄に時間を費やさない
- ・ 仲人が間に入っていること（各種調整、相談ができるなど）

私もこれって、、ずっとおかしい、、とっています！
私も、期限決めて活動するなんて、、私なら嫌です。

ですので、うちは、3ヶ月付き合ってみて、結婚考えられそうか？

まだ、向き合ってみたいか？

を考える期間としてみて！と話しています。

それで、しっかりまだ向き合って行きたい！

とされる場合は、では、3ヶ月過ぎたらしっかりさらに会って話して行ってね！という流れにしていつまでに！とはしません。

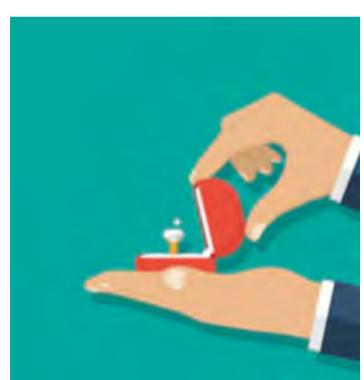
ただ、、他の相談所、とくに大手や年配の仲人さんは3ヶ月過ぎると決めていくようにされる事が多く、担当の方にもう少し待ってあげて欲しいと、延ばす事もあります。もうこちらは成婚退会とさせます！と、言われ合わすしかなかった事もあります。

こちらは、本当に成婚されるわけではないので、いったんDATAは退会として、成婚料金は頂きませんでした。

結果、残念ですが、結婚になりませんでした。

ただ、だらだらズルズルと、交際することは時間がもつたないなので、期限も参考であればいいかと思います。その時々、仲人同士がしっかり考えてあげるというのでは？と考えます。

うちは、焦らさず、会員様が、もう大丈夫！と自分の意志を持ってきてくれる時、両方の親にきちんとわかって頂けた後でないと成婚としていません。



【メリット】

3ヶ月という期日があることでだらだらした活動に歯止めがかかる。

交際のスケジュール調整が早期になることで、ご縁の近道になる。

当所はIBJの加盟店ですので本ルールの契約書を使用していますが、サポート体制としてあまり強調していない部分です。

一番は会員様の気持ち優先だと考えていますので、期日規定の優先順位は低くしています。

【デメリット】

活動が機械的、システムチック、制限が強く、将来のお相手を探すうえで、期日があることで適正な判断が出来ない可能性がある。

人と人なので、条件的な部分は早期に分かるが、性格・人柄・感情的な判断や気持ちの整理は個人差があると思います。

【メリット】

- ・だらだらと交際して、いつまでも交際が継続するよりもメリハリが付く
- ・逆算して、仮交際や真剣交際への促しや結婚に向けてのアドバイスや準備もできる
- ・結婚相談所側も会員側も事前に期間を区切られた方が結婚に向けて動きやすい

【デメリット】

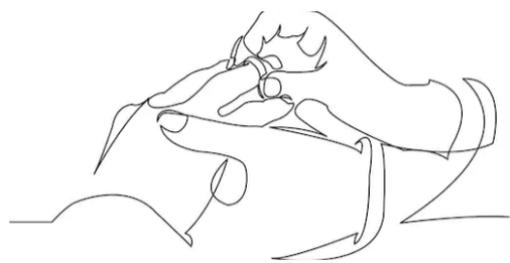
- ・気持ちが固まっていない人も見受けられ、成婚後に破断も連盟内ではチラホラ聞きます。
- ・自社会員から相談を受けたり、お相手が気持ちが固まっていなと最終的な判断に困る

メリットとしては、

真剣なお付き合いに限定されやすい、優柔不断な人にとってはいいかも、成婚料が早くもらえる、等ではないでしょうか？

デメリットとしては、

もう少しゆっくりお付き合いができれば結ばれていたかもしれないカップルが、終わってしまいやすい。迷いがある段階で3ヶ月たったからといって早く成婚退会してしまうと成婚退会后に別れやすい。



決められない人もおられますし、もっと早く決める人もいます。

どれだけの期間が適正かは人それぞれですし、何が正しいのかわかりません。

でも、ある程度のメドがないとずるずると引っ張ってしまい、「情」というものが出てきて、結婚しないけど別れられない。優柔不断で決められない。

放っておいても決断力のある方は、結婚相談所に来なくても決まっているでしょう。

期間が決まってるから、お互いをもっと知るために会いましょうと言える。

6ヶ月が過ぎた交際でも、前に進めない何か障害がある場合、それを乗り越えるまで、じっくりと付き合います。

6ヶ月過ぎると延長料金を取るところもあるとか。それはちょっと無茶苦茶かと思います。

私が仲人になり始めた頃、この3ヶ月ルールを説明する時に、困りました。

私自身、ひとめ惚れなどしないタイプだし無理だと思っていたからです。

だからさらっと伝えるようにしていました。

「難しいと感じるかも知れませんが、先輩方の経験から本当に結婚されている方は3か月で決めている方がほとんどです。

その時点で決めきれないカップルは、結婚まで行かない事が多いようです。」

と説明していました。

今は沢山経験して見て来たから、自信を持って伝えていきますよ。



私も婚活し始めた当初は、「絶対に3ヶ月で結婚できるかどうかなんて決められない」と思っていました。でも、私たち夫婦も含め、成婚されたお客様方が異口同音におっしゃるのは、「3ヶ月もいない」ということです。

なぜなら、一般的な出会いと違い、「結婚を真剣に見据えて」「かなりの個人情報を見事前に見た上での」出会いのため、フィーリングが合うかどうかだけに集中できます。

ちょっとした食事やデートを一緒にするだけで、将来の生活状態をイメージできるので、「合うかどうか」が早く分かるのです。

そして、本当に相性の合う人が見つかり、たった3回位会っただけで、3ヶ月くらい一緒にいるような錯覚に陥ります。

私は、毎週デートして、3ヶ月経っても決められない場合は、運命の人ではないと断言しています。

これはいつも入会時にこう説明します。

相談所では3ヶ月を基本に結婚を決めていきます。初めて聞くと驚きますよね。でも、結婚相談所は結婚を目的としたところ。

そして結婚準備ができている人達の集団です。だから、気持ちが合えばちゃんと決まっています。今そこに拘り考えることより、その時になってみればわかります、と。

実際、結婚を決めた人達、そしてうまくいくカップルは、3か月経過した頃は迷いがありません。その時期になって、まだはっきりしない、わからない、決めかねる、そこには理由があります。

①何かひっかかっているけど見えていない。

この場合、半年を最長に延ばしますが、大体破綻になります。

②3ヶ月じゃわからない、決められない。

そんなことを言う人たちの共通点は、会っていない。忙しい。友達と出かける。色んな理由を優先して、週に1度も会っていないことがほとんど。恋に臆病だから、自分から行動をおこせない。

一生を決めるんだから、あたっただけろ精神でぶつかって行く人たちはちゃんと結ばれて行きます。

ようは期限がどうのではなく、コミュニケーションがとれないんです。それを邪魔するものは何なのか？そこまで追求しないと無理でしょう。だから期限ではありません。目をむけるべきは コミュニケーションスキルです。

期限つきメリットもあります。

決めなければならない。だからこそ、そこで一生懸命行動に出るということです。

期限がなければズルズルと交際が続くでしょう。結論も出さないまま流れていく出会いが多くなる可能性が十分にあります。

なので、私は長年やってきて、この3ヶ月ルールは決して間違っていない。そう思っています。

そしてその期間内で決めていくような、サポートをしていくことです。

デメリットは、何も会員さんとコンタクトもとらず、理解も会話も殆どせず、3ヶ月になったら成婚費用の請求をしてくる相談所があることです。

過去いくつか当たりましたが、利益優先としか答えが見当たりませんでしたね。

第12章

さいごに



長いガイドブックをお読み頂きありがとうございました。私が婚活業界に関わり始めて10年が経過しました。

未だに悪質な相談所に入会してしまい「もっと調べておけば…」と後悔する人がたくさんいます。皆さんがイイ相談所と出会えるように、情報発信を続けてまいります。

ミッキー岡田のプロフィール

年齢：1971 年生まれ

性別：男

家族構成：1 男 1 女・妻と死別

23 歳・・・結婚

28 歳・・・ブライダル会社設立

30 歳・・・結婚相談所関連事業開始

33 歳・・・シングルファーザー

36 歳・・・IT 会社設立

39 歳・・・結婚相談所のサイトを開設

48 歳・・・再婚

現在・・・結婚相談所、婚活パーティー、婚活イベント、結婚相談所のコンサルティング等など、複数の婚活関連事業を運営。全米 NLP マスタープラクティショナー資格。神社の神主もしています。



 ホームページ

<https://jm-h.com/>



 YouTube

ミッキー岡田の結婚相談所



 @konkatsutiger

@konkatsutiger